

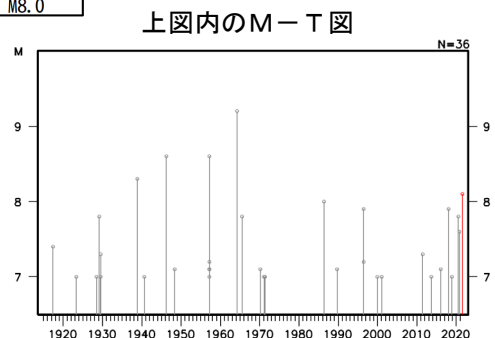
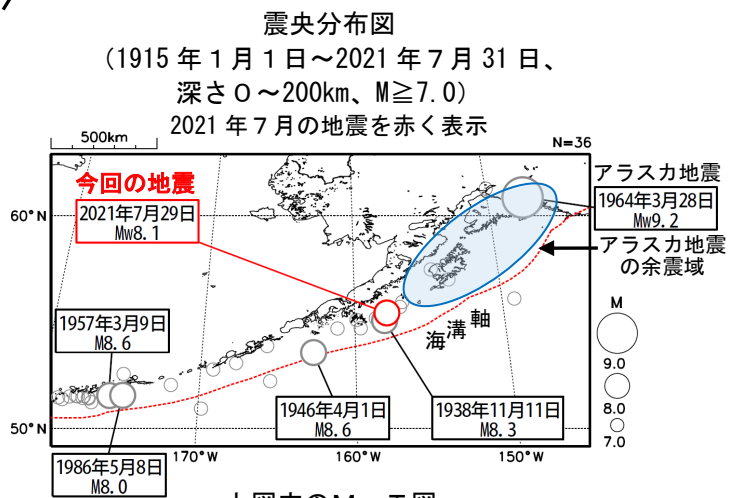
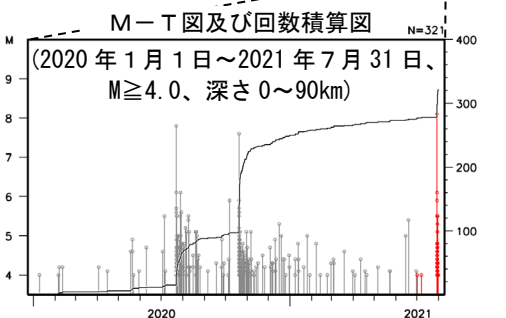
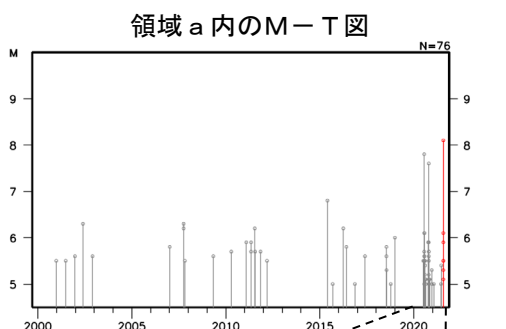
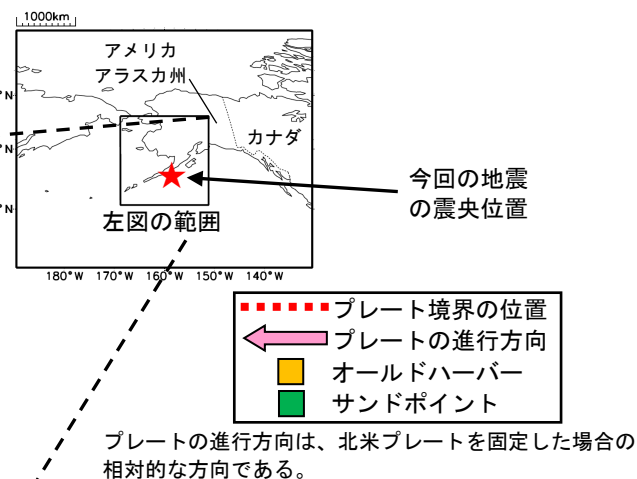
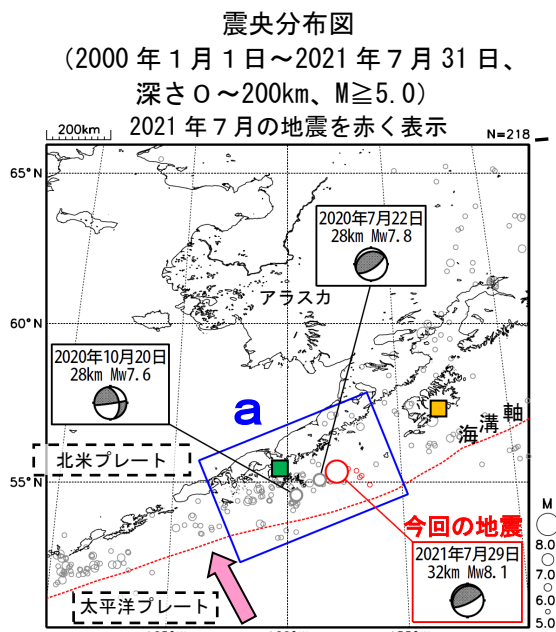
## 7月29日 米国、アラスカ半島の地震

2021年7月29日15時15分（日本時間、以下同じ）にアラスカ半島の深さ32kmでMw8.1の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震は発震機構（気象庁によるCMT解）が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと北米プレートの境界で発生した。

気象庁は、この地震により、遠地地震に関する情報を同日15時42分（日本への津波の有無を調査中）と同日18時02分（日本沿岸で若干の海面変動あり）に発表した。この地震により米国アラスカ州コディアク島のオールドハーバーで0.21m、同じくアラスカ州サンドポイントで0.15mなどの津波を観測した。今回の地震の震央周辺（領域a）では、2020年7月22日にMw7.8の地震、同年10月20日にMw7.6の地震が発生している。

2000年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、時々M6.0以上の地震が発生している。

1915年以降の活動をみると、アラスカ周辺では、1964年3月28日に最大級規模の地震（アラスカ地震）（Mw9.2）が発生し、死者131人等の被害が生じている。



※本資料中、今回の地震、2020年7月22日の地震、及び2020年10月20日の地震の発震機構とMwは気象庁による。1964年3月28日の地震（アラスカ地震）の被害及びMwは宇津の「世界の被害地震の表」による。その他の震源要素については、2017年以前の地震は国際地震センター（ISCGEM）、2018年以降の地震は米国地質調査所（USGS）による（2021年8月2日現在）。津波の高さは、米国海洋大気庁（NOAA）による（2021年8月2日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）\*より引用。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

宇津徳治（2004）世界の被害地震の表（古代から2002年）まで、宇津徳治先生を偲ぶ会、東京、電子ファイル最終版。改定・更新版：<http://iisee.kenken.go.jp/utsu/index.html>